

角田支局記者 田村賢心の Let's KAKUDA!

河北新報角田支局 田村賢心
kakuda@po.kahoku.co.jp ※連絡の行き違い防止のため、配達関連の
TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707 連絡は販売所までお願いいたします。→

「カレーなる単身生活」

気がつけば、カレーばかり食べています。取材エリアの角田市、丸森町内には、街中や田園の道沿いにちょっととしたカフェがあり、それぞれに個性的で味わい深いカレーがあります。仕事の合間に立ち寄れば、ほぼ必ずカレーを注文するようになりました。さらに両市町には、ご当地レトルトカレーにも逸品があります。単身生活の貴重なお供です。支局兼自宅の茶棚には、常に2種類のカレーパックを大量にストックしています。

その一つが、角田市産の農畜産物をふんだんに用いた「かくだのカレー」です。発売元は、黒毛和牛の肥育を手掛ける市内の森谷畜産。昨年9月から市内の産直広場あぐりっと、道の駅かくだの店頭に並び、翌月に河北新報朝刊県内版のコーナー「いちおし土産」で紹介しました。ずしりと舌に響くような辛みが自分の好みに合っており、仕事が忙しくて昼食にありつけなかつた空腹時の夜、無性に食べたくなります。上質な牛肉だけあって、やわらかさや味も申し分なく、レトルトにしては割高な価格設定にも納得がいきます。タマネギやジャガイモ、ニンジンなどの具材も「オール角田」。記事には、森谷畜産代表の「角田の食材を食卓で話題にし、だんらんを楽しんでほしい」との言葉を盛り込みました。単身の食卓なのでだんらんはありませんが、黙々と味わいを楽しませてもらっています。

もう一つ、常備しているレトルトカレーは、丸森町耕野の農産物直売所「いなか道の駅やしまや」のオリジナル商品「感動の一尺四寸たけのこカレー」です。耕野地区特産のタケノコが入っています。話題が多い地区なので、取材で訪れる度に同店で買い込みます。かくだのカレーよりは、さらりとした辛みで、それがタケノコのシャキシャキとした食感や甘みを引き立てているように感じます。ちょっと小腹がすいた昼などによく食べます。

さて「自分で料理はしていないの?」と思われた方もいるかもしれません。答えは「湯を沸かすことと電子レンジで温めること以外、ほとんどしていません」です。2年前に角田支局へ

赴任した時点で、夜も7時過ぎまで仕事することが多いだろうと考え、調理器具はほとんど用意していませんでした。

ある取材で市内の農家を訪ねた際、トマトをいくつか頂戴したことがあります。「包丁がないので、どう食べていいのか…」と言ったところ、「包丁もないのか」と驚かれました。その後、市内の飲食店に行ったら、店主から「包丁持っていないんだって? 使ってないのあげるよ」と言われ、今度はこちらが驚かされました。家に包丁がないことがニュースのように広まっているとは…。「包丁がないということは、まな板も持っていないんです」とはさすがに言えませんでした。

包丁もまな板も今は支局にありますが、角田、丸森の恵みをレトルトカレーで楽しむ生活はこの先も続きます。



かくだのカレー



感動の一尺四寸たけのこカレー

★皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただき、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集発行 河北新報目黒新聞店

〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
フリーダイヤル（読むニュース）
0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを

月刊かほくあんふいに

第400号

令和3年12月号
【毎月最終日曜日
発行予定】

おかげさまで「月刊かほくあんふいに」が今号で400号を迎える事が出来ました。これもすべてご愛読者のみなさまのおかげと心より感謝申し上げます。

本来であれば「400号・12月号」ということで、プレゼント企画等も検討しておりましたが、残念ながら未だコロナ禍という事もあり、コロナ収束の時までに体力を蓄え、その時にみなさまに喜んでいただけるような企画を実施したいと考えました。

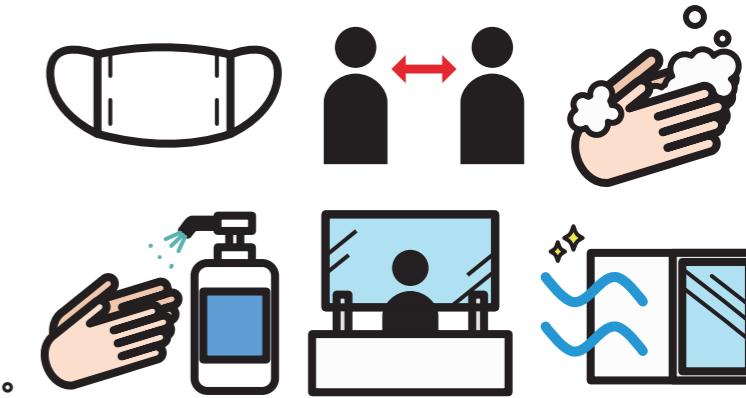
今後とも河北新報共々あんふいにをよろしくお引き立てのほどお願い申し上げます。

河北新報目黒新聞店 スタッフ一同

—新型コロナウィルス 感染予防対策—

三密の徹底回避！！

インフルエンザも流行する時期です。
こちらにもどうぞお気を付け願います。



編集後記

日本国内においては見コロナは収束しつつあるように感じます。しかしながら先進国の中でもドイツ・イギリスを始め多くの国々で未だ爆発的に感染が再拡大しているのも現実です。経済を優先するあまり他国との行き来を大幅に許してしまえば、日本もまたその様になるのは目に見ております。ワクチンの2回接種はだいぶ行き渡ったのでしょうか、3回目の接種や経口薬の実現が早期に必要かと思われます。そしてまだまだ「三密を避ける・マスクの着用・換気の徹底」とう自主防衛も大事だと思います。忘年会・新年会の季節も間近。自肃自粛にうんざりのワタシも友人達との再会を久しぶりに楽しみしておりますが、頭の片隅にはいつも自主防衛の事をお忘れなき様。ワタシも肝に銘じます。

次回「あんふいに」は12月26日(日)発行予定です。

12月の新聞休刊日は 12月13日(月)です

※新聞休刊日は事務所も含め、全店休業日とさせていただいております。

テレビ・ラジオ欄は
前日12月12日(日)の
朝刊でご確認ください。

